

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 22 日

事務事業名		大曽根中継ポンプ場整備事業			事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け			新規/継続	新規	事務事業No.	040801000971
		政策体系上の位置付け			単独/補助	単独	所属課	070201
政策体系	総合計画の施策名	0408	上水道の整備		主要事業		水道課	
	政策名	04	快適で潤いのある生活環境づくり		市長マニフェスト			
	施策名	08	上水道の整備		未来PJ事業		グループ	工務グループ
	基本事業名	01	上水道の安定供給及び施設の適正管理		合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (平成28年度~)	
法令根拠							← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
大曽根浄水場取水井戸の取水量が安定していないことから、羽田配水場で受水した県西広域水道用水を大曽根浄水場の配水池に送るための送水管及び中継ポンプ場を整備し、大曽根地区の水道の安定供給を図るものです。	事業用施設の場所確保→確定→設計委託業務締結→基本調査→概略設計→打ち合わせ→工事発注→管理監督→完了検査

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
大曽根浄水場の取水量が安定しないことから、中継ポンプ場を整備し、大曽根地区の水道水の安定供給を図る。28年度中継ポンプ場築造用地の決定 (実施設計の策定) 29年~ポンプ場築造工事・配水管布設工事の実施	整備事業進捗率	%	0.00	100.00	100.00	100.00	0.00
		%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
大曽根中継ポンプ場	送水管の整備延長	m	0.00	0.00	2,100.00	2,100.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
適正な水の安全確保・安定した水の供給	取水緊急停止の回数	回	0.00	10.00	10.00	0.00	0.00
	一日平均受水量	m3	0.00	0.00	0.00	80.00	0.00
	一日平均取水量		75.30	75.30	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	16,379	192,300	0	0
	事業費計 (A)	千円	0	16,379	192,300	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	0.00人	5.00人	5.00人	0.00人	0.00人	
	述べ業務時間	時間	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費計 (B)	千円	0	0	0	0	0	
トータルコスト (A)+(B)		千円	0	16,379	192,300	0	0	

事業費の内訳	28年度事業費 実績 (千円)			29年度事業費 予算 (千円)		
	13 委託料	15,800		15 工事請負費	192,300	
	17 公有財産購入費	579				
	合計	16,379		合計	192,300	

(4) 当該年度の実施内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する			
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	大曽根中継ポンプ場整備事業	事務事業No.	40801000971	所属課	水道課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 現在、大曽根地区においては、浅井戸を水源とした大曽根浄水場で浄水して配水している。しかし、取水量が安定していないことから、取水及び浄水を廃止し、羽田配水場で受水した県西広域水道用水を利用する。また、送水管の布設及び中継所を築造することにより水の安定供給を図る。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 平成28年度から始まる事業なので特にありません。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	取水量が安定しない水源を廃止し、県西用水に切り替えることは、基本事業の上水道の安定供給に結び付く。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市が経営するものと規定されており、水道料金により運営されているため税金は投入されていない。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	本体工事が完了することにより成果の向上が見込める。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	大曽根地区において、安心安全な水の安定供給ができなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業がない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	施設整備に必要な事業費であるため、削減の余地はない
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	事業は一部地域であるが、全体の公平性を保つための事業である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	本年度は施設整備に係る調査、設計業務が主であった。不要な設備を設計の時点で削減するなど事業費の適正化に努めている。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上			○																						
	維持			×																						
	低下			×																						
次年度は工事着手のためコストは増加するが、事業の完了により成果の向上が見込める		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>